学校番号	1013

平成 31 年度　芸術科 書道

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習カードを利用し、個人の進度の把握や一人ひとりの制作意図に基づいたアドバイスを的確におこないます。
・基礎的な書写能力を高め、毛筆検定の資格取得をめざします。
・授業の進め方は、毎授業での目標を明確にし、鑑賞を通して制作の意図や技術を学習する。評価方法については、各単元・毎授業の取り組み方、作品や制作カードの提出でおこないます。

2　学習の到達目標

書道における表現と鑑賞の創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てる。
書に親しむ活動を通して感性を高め、様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に自己を表現する能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけようとしている。	確かな表現技法を習得し、それを生かしてより自由で個性的な表現を工夫している。	自己の意図を実現するための構想を具現化し、主体的に個性的・創造的な表現をすることができる。	さまざまな書作品の鑑賞を通して、書と生活の関わりなどについて理解している。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・学習カード	・学習活動への参加状況 ・学習カード ・提出作品	・学習活動への参加状況 ・学習カード ・提出作品	・学習活動への参加状況 ・学習カード ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	毛筆検定	・毛筆検定対策	○	○	○	○	a:毛筆検定の合格基準に達する技術を理解しようとしている。 b:書体の字形の整え方を理解し、適切に書くようにしている。 c:書体の字形の特徴を理解し、適切に書くことができる。 d:毛筆検定の合格基準に達する技術を理解している。	・学習活動への参加状況 ・学習カード ・提出作品
二学期	漢字の書 (1・2年次の復習)	・書道コンクールへの出品 ・作品表具	○	○	○	○	a:さまざまな書体について関心をもち、書風の違いについて理解しようとしている。 b：各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d:さまざまな古典を鑑賞し、書風の違いについて理解している。	・学習活動への参加状況 ・学習カード ・提出作品
	共同制作Ⅰ	・校歌を題材にした共同制作 ・作品表具	○	○	○	○	a:文字の配置や全体の構成に関心を持ち、個性的・創造的な表現力を高めようとしている。 b:漢字を効果的に表現する全体の構成を考え、創造的な表現を工夫している。 c:漢字を効果的に表現する全体の構成を考え、創造的な表現を工夫することができる。 d:表現技法を理解している。	・学習活動への参加状況 ・学習カード ・提出作品
			○	○	○		a:ｸﾞﾙｰﾌﾟの中で話し合いながら、協力して作品を作り上げようとしている。 b:ｸﾞﾙｰﾌﾟで書風や線質、全体の構成を工夫している。 c:ｸﾞﾙｰﾌﾟで題材を効果的に表現する全体の構成を考えることができ、創造的な表現を工夫することができる。	

二学期	創作作品Ⅱ	・くらしの中の書 ・作品表具